

# 議会日誌

10~1月

主なものを載せています

- 10月19日 } 日広報委員会
- 27日 } 熊本県町村議会議員研修(益城町)
- 29日 広報委員会
- 11月6日 総務産業常任委員会
- 16日 文教厚生常任委員会
- 18日 地方創生特別委員会
- 19日 { 熊本県町村議会広報委員会研修  
(自治会館)
- 25日 } 議会運営委員会研修
- 26日 } (福岡県糸田町・桂川町)
- 30日 玉名郡議会議員研修会(玉東町)
- 12月1日 地方創生特別委員会
- 4日 議会運営委員会
- 15日 } 第6回南関町議会定例会
- 18日 }
- 1月20日 { 熊本県町村議会常任委員長研修  
(グランメッセ)
- 21日 全員協議会
- 28日 { 広報委員会研修(福岡県大  
木町議会広報委員会が来町)
- 地方創生特別委員会

## Topic! エコアくまもと落成式



昨年、11月29日南関町下坂下地区に建設中だった熊本県関与の管理型最終処分場の落成式が大勢の来賓出席のもと執り行われました。

開会に先立ち、主催者である蒲島熊本県知事の挨拶で、冒頭、本施設の建設では、本町へご苦労かけたことの謝意と感謝を申されました。また、あらためて、本施設の安全性には、将来まで県が責任を持つと明言されました。それから、公益法人熊本県環境整備事業団理事長の村田副知事は処分場屋根に設置の県民発電所(太陽光発電)や処分場の西側に建設予定のバンブーフロンティア事業所(竹を使った事業)のバイオマス発電などと合わせ県北の環境学習の拠点として発展させ、本町に貢献したいと抱負を述べられました。

また、落成式終了後、県民発電所の発電開始のセレモニーも執り行われました。

これほど大規模なクローズド無放流型の管理型の最終処分場は国内では珍しく、研修で来町される方々は多くなると思われます。

本町議会としても、処分場の安全性チェックは必須事項です。



玉名郡町村議会議員研修会

編集 集(広報調査特別委員会)  
委員長 本田 眞二  
副委員長 立山 秀喜  
委員 杉山 博明  
委員 立山 比呂志  
委員長 酒見 喬

お知らせとして、前述のような自治法や条例とは別に、各議会には、それぞれ自主的な取り決めがあります。「山郷」の一般質問の掲載で、質問者も答弁者も「くだ。」や「く」となっている。「く」という表現をしています。実際は丁寧な語調でのやり取りがなされておりますが、字数の省略と内容の明確化のため、このように取り決めをしております。

(本田眞二)

さて、昨年11月30日、玉東町福祉センターで玉名郡議員研修会が開催されました。内容は「定例会・臨時会」、「議案の審議」、「発言」と三部構成になっており、地方自治法に基づき、熊本県町村議会議長会事務局長の古家陽介氏に講演いただきました。改めて、コンプライアンス(法令順守)の重要性を認識させられました。

私は、昨年10月の中ごろから、たまに襲ってくる尿管結石の発作に苦しめられながら新年を迎えました。二度の日帰り手術後もおもわしくありません。でも、もっと重い病気に闘っている方もおられるかと思えます。「病気に負けないで、がんばりましょう」。

